

プロジェクトシート

政策の基本	人づくり
人づくりの視点	人を活かす

1 プロジェクトの概要

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自らの個性や能力を活かし、とちぎづくりの担い手として活躍できるよう、若者や大人の社会参加を促進します。 ○ 長年培ってきた知恵や能力を活かし、とちぎづくりに参画できるよう、シルバー世代の社会参加を促進します。
取組の方向	<ul style="list-style-type: none"> ☆多様な能力を活かす（若者世代～大人世代） ☆知恵と能力を活かす（シルバー世代）

2 成果指標等の状況

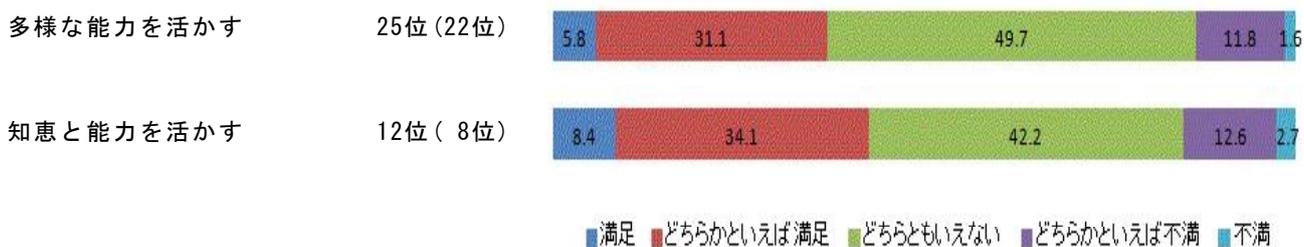
成果指標	基準 ・全国平均 ・全国順位	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	目標 H 2 7
①社会貢献活動参加率	18.0% (H22)	18.0%	32.4%	36.9%	34.6%		県民2人に1人以上の参加を目指す
出典：県政世論調査	達成見込	—	☀️	☀️	☀️		

(注) 目標達成見込の判断 ☀️ : 概ね順調 🤖 : やや遅れている ☔ : 遅れている

【成果指標の分析】

- ① 社会貢献活動に対する理解促進の取組により、社会貢献活動への参加率が上昇しており、目標達成に向けて概ね順調です。

【平成25年度県民満足度調査結果】



※順位は、「満足」及び「どちらかといえば満足」と回答した割合をもとに順位付けした。()内は前年度の順位。

3 主な取組成果

【成 果】
☆多様な能力を活かす（若者世代～大人世代）
○社会貢献活動への理解促進による社会参加促進
<p>《主な取組》</p> <p>① NPO、ボランティア等の社会貢献活動への参加促進 ボランティアサポート事業として、公募で登録したボランティア団体が実施する県管理施設（道路、河川、公園）の維持管理活動を市町村等とともに支援したことにより、前年度に比べて16団体多い、294団体がボランティア活動に参加しました。</p> <p>② 寄付文化の醸成 NPO等が寄付を集めやすい環境を整備するための普及啓発や、県民向け寄付募集イベント、ファンドレイザー（資金調達の担い手）の養成講座を開催しました。</p>
○マッチング機能強化 ○県民協働の仕組みづくり
<p>《主な取組》</p> <p>① 社会貢献活動に参加したい人と活動とのマッチングを行う関係機関相互のネットワークの形成とちぎボランティアNPOセンターにおいて「地域・協働・創造Webサイト」を運用することにより、新たな“公”の担い手同士の情報共有、出会いの機会の創出を図りました。</p> <p>② 地域づくりや様々な課題解決に協働で取り組むための出会いと協議の場づくり 協働モデル事業（36事例）の事例報告会や事例集の作成を行い、県民協働の仕組みづくりの普及啓発に取り組みました。 「NPO等と行政とのテーマ別意見交換会」を開催（3回）し、相互理解の促進を図りました。</p>
☆知恵と能力を活かす（シルバー世代）
○社会参加への意欲を活動に結びつけるための仕組みづくりや交流機会の確保
<p>《主な取組》</p> <p>① シルバー大・大学等における社会参加のきっかけづくりと人材の養成 高齢者社会参加促進会議（5回）を開催し、シルバー大生と関係機関等がボランティア活動に関する意見交換を行い、地域活動へのきっかけづくりを実施しました。</p> <p>② 技能等の発表と伝承の場づくり 経験豊かな高齢者が、それぞれの知識や技術を活かして取り組む地域文化伝承団の活動を支援（6団体）し、地域文化の次世代への伝承や世代間交流の促進を図りました。 「ねんりんピックとちぎ」の開催を通じて、高齢者が培ってきた技能等を発表することにより、高齢者の生きがいづくりにつなげました。</p>
○就労支援の充実
<p>《主な取組》</p> <p>① 就労相談や就職情報の提供などの多様な働き方への支援 県シルバー人材センター連合会等の活動の普及啓発を行い、高齢者の就労につなげました。</p>